

これが全て入ってます！

# お産セットのなかみ

そのほかの入院時、分娩時の持ち物については「あゆみ」のP.42～P.43を参照ください



## お母さんと赤ちゃんのための **あゆみ**

当センターで出産される方にお渡ししているお母さんと赤ちゃんのための冊子「あゆみ」は128ページの大ボリューム!!

妊娠中の過ごし方はもちろん、当センターでの分娩、母乳、ミルク、出産直後から1ヶ月検診までのことがこれ1冊で！



## 産科・小児科の先生に聞いてみたいアレコレ募集中!!

きらりでは、診察中には聞きにくいギモンや、子育てに関するウワサの真相など、産科・小児科の医師に聞いてみたいことを募集中です！

応募方法  
QRコードを読み取り、「メール作成画面はこちら」をクリックしていただくとメール作成画面に移動します。件名はそのまま、聞いてみたいことを入力して送信ください。個人情報の入力は不要です。

お問い合わせ

地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター  
大阪府市共同 住吉母子医療センター



## 医療機関の皆様へ

住吉母子医療センター「きらり」の設置にご協力頂ける医療機関様を募集しております。設置にご協力、または送付をご希望される場合は、下記QRコードよりお申込みください。



06-6692-1201(代表) 平日 9:00～16:30  
〒558-0056 大阪府大阪市住吉区万代東3丁目1-56

大阪急性期・総合医療センター  
住吉母子医療センター presents

Kinari  
きらり

vol.  
15

2022.12



バックナンバーは 住吉母子 きらり

産科・婦人科医の  
知っておいて  
ほしいおはなし  
今年こそ/  
インフルエンザの  
ワクチン接種を！

母乳育児の神祕  
14.  
おっぱいが張らない…  
母乳、たりてるのかな?  
母乳不足感

小児科マメ知識  
小児科  
おしゃべり  
ドクター！  
腹痛シリーズ  
こわい捻転

## 小児科おしゃべりドクター！



産科・婦人科医の

知っておいて  
ほしいおはなし



### 今年こそ/ インフルエンザの ワクチン接種を！

コロナワクチン(SARS-CoV-2ワクチン)については、4回目、5回目の接種案内が届いています。私もいらっしゃる方も多いらしいやうに思います。今後コロナワクチンについては、定期的な接種を継続していくことが必要という見込みも出てきました。

インフルエンザワクチンは、年に1回の接種ですが、コロナは夏場でも流行が止まらないので、年に2回、あるいはそれ以上の頻度で接種です。インフルエンザワクチンは、夏場でも流行が止まらないので、前回の接種から1年以内に接種を続ける必要があります。

妊娠中でも、インフルエンザワクチンはコロナワクチンと同じように安全に接種できます。インフルエンザワクチンは何十年も接種されているので、安心です。また、インフルエンザワクチンとコロナワクチンは同時に接種をうけることが可能で、推奨されています。

まだインフルエンザワクチンの接種をうけていない妊婦さんとそのご家族は、すぐに接種をお勧めします。

# こわい捻転

捻転という言葉聞いたことがありますか？捻転とは、「ねじられて向きが変わること」を意味します。人間の中には、突然ねじれて怖い病気をおこしてしまったことがあります。例えば、精巣、卵巣、腸、胆嚢などです。捻転も、腸重積と同じ強い痛みが生じます。

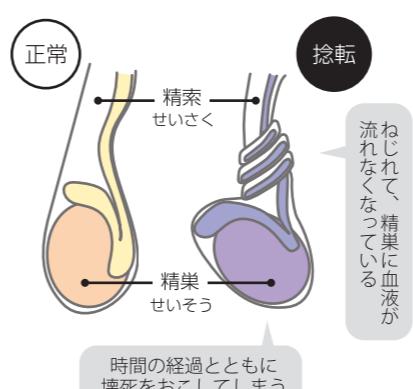
前回、生後3か月～5歳くらいまでの乳幼児で注意する便の原因として“腸重積”的お話をしました。他に注意すべき便の原因の話に進む前に、ほつておくと怖い「捻転(ねんてん)」のお話をします。

捻転といふ言葉聞いたことがありますか？捻転とは、「ねじられること。ねじれて向きが変わること」を意味します。人間の中には、突然ねじれて怖い病気をおこしてしまったことがあります。例えば、精巣、卵巣、腸、胆嚢などです。捻転も、腸重積と同じ強い痛みが生じます。

6～12時間以内に手術が行われることが望ましいといわれていますので、精巣捻転と診断、あるいはその疑いが強い場合には、出来るだけ早く泌尿器科や小児外科の先生の診察を受けます。新生児は痛みを伝えられないで、原因がわからず泣き続けるときには精巣捻

転は新生児期と思春期に多いと言われています。(もちろんそれ以外の年齢でも起こることがあります)新生児は痛みを伝えられないで、原因がわからず泣き続けるときには精巣捻転について取り出す手術を行います。

精巣捻転の治療はできるだけ速やかに外科的にねじれを直すことが基本になります。ねじれを直して血流が回復する場合には再び精巣が捻じれないよう固定する手術が行われます。もし血流が回復しなければ、精巣を摘出(切って取り出す)手術を行います。



### 「おっぱいが足りないんじゃないかな？」

あかちゃんは日毎に体重が増え、それに応じておっぱいの必要量(要求量)も増えています。あかちゃんが需要とする量のおっぱいを分泌するには、このあかちゃんの要求に間に合わなくなつた(おっぱいが足りない)と感じてしまうことがあります。これを「母乳不足感」と言います。決して、おっぱいが飲んでくれるしぶみ、また張つて繰り返します。

こういう状態のおっぱい(乳房)は、吸うたびにおっぱいが分泌されるようになります。あかちゃんのからは変化していきます。あかちゃんが吸えばおっぱいが出てくるという、おっぱいのリズムができてきたことなのです。

## 母乳育児の神秘 14.

おっぱいが張らない…  
母乳不足感



とは言え、場合によつては、本当に足りないこともあるかもしれません。おしつこの回数はどうでしょうか？1日6回以上がおっぱいが足りている目安です。おっぱいの分泌はどうでしょうか？気になる時は、助産師さんに診てもらつといいでしよう。

また、今まで以上に、頻回に欲しがり、頻回に吸啜することは、必ずしもおっぱいが足りないわけではありません。